

【easy】日本に住んでおどろいたこと

動画URL : <https://youtu.be/n3Tq6JDCQHg>

今回は「日本に住んでおどろいたこと」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+ 20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■自己紹介

こんにちは。私の名前はジョン・スミスです。アメリカから日本に来て3年で、今は東京に住んでいます。日本に来た理由は、日本の文化や生活がとてもきょうみぶかく、もっと学びたかったからです。

日本に来る前、私は日本のことを少し知っていましたが、じっさいに住んでみて、おどろくことがたくさんありました。食べ物やこうきょうのこうつうきかん、まちのようすなど、アメリカと比べて全然ちがうところが多くて、とても面白いです。最初は日本語がわからなくて、何を言っているのかわからないのが大変でしたが、今では少しずつ言葉もおぼえ、にちじょう生活でこまることが少なくなりました。

今回は、日本に住んでいて私がおどろいたことについて紹介したいと思います。日本の文化や生活の中には、外国人の私にとって新しく、ちょっとおどろくようなことがたくさんあります。その中で特に印象にのこったことをお話しします。たとえば、日本のこうきょうこうつうきかんのせいかくさや、コンビニの便利さなどです。また、日本の食文化や、まつりなどもとても面白いです。

これから、私が日本でけいけんしたおどろきや感動したことを、少しでもみなさんに伝えられたら嬉しいです。

■こうきょうこうつうきかん

日本に来て、最初におどろいたことの一つは、こうきょうこうつうきかんがとてもせいかくなことです。日本の電車やバスは、ほぼ時間通りに来ます。たとえば、電車のじこくひょうはとてもせいかくで、少しでもおくれると、駅員さんがしゃざいのアナウンスをします。このようなせいかくさは、私の国では考えられません。もしもおくれるときでも、次の電車のとうちやくじこくがすぐにわかるので、むだに待つことはありません。

また、電車やバスの中では、うるさくしてはいけません。みんながしずかにしていて、スマートフォンを使っても音を出さないようにしています。このようなマナーに、最初は少しおどろきましたが、すぐになれました。こうきょうの場所では、みんなが周りに気を使い、しずかにすすることが大切です。

最初に電車にのったとき、私は少しドキドキしていました。日本の電車は、駅がとても多く、初めての駅でおどろくのが少し不安でした。でも、駅に着くと、あんなにがとてわかりやすく、まようことはありませんでした。駅の中もしゃりょうもきれいでした。しゃりょうにのったときも、みんながしずかにすわっているのを見て、とてもおどろきました。

日本のこうつうきかんは、外国人にも優しく、どんな場面でもまよわずに利用できるようになっていました。運転手や駅員の方々も、親切に教えてくれるので、安心して利用しています。日本に来て、こうきょうこうつうきかんの便利さと、せいかくさを実感しました。これからも、こうつうきかんを使って、たくさんの場所に行きたいと思っています。

■コンビニ

日本のコンビニは、とても便利です。日本のコンビニは24時間営業していて、いつでも利用できます。食べ物や飲み物だけでなく、日用品やお弁当もかんたんに買うことができ、何でもそろっています。私は最初、夜おそくにおなかが空いた時にコンビニに行き、おにぎりやおかしを買ったりしました。いつでも食べ物が手に入るので、とても便利です。また、コンビニではATMを使ってお金を引き出したり、チケットを買ったり、たぐいはびんのにもつを送ったりできるので、生活に必要なことがほとんどできてしまいます。これにはとてもおどろきました。たとえば、コンビニでコンサートのチケットを買うことができます。その他にも、最近ではコンビニでの支払いがスマートフォンを使ってできるようになり、ますます便利になっています。さらに、日本のコンビニは、きれいな店が多いです。店員さんはとても親切で、買い物が終わった後「ありがとうございます」と言ってくれます。どのコンビニでも、お店がせいけつでかいてきな空間になっているので、買い物をしている感じがいいです。日本のコンビニは、生活にかかせません。私は日本に来てから、コンビニをよく利用するようになりました。おなかが空いたとき、必要な物を買いたいとき、何かこまったときには、すぐにコンビニに行くことができるので、とてもたすかっています。これからも、日本のコンビニをどんどん利用しようと思います。

■あいさつとれいぎ

日本に来て、まずおどろいたのは、あいさつがとても大切にされていることです。日本では、朝「おはようございます」、昼「こんにちは」、夕方「こんばんは」、そして帰るときには「おつかれさまです」など、時間に合わせたあいさつをすることが普通です。あいさつをすることで、相手にたいしてけいいを表すことができます。私は最初、あいさつのタイミングがわからなくてとまどうこともありましたが、だんだんその重要性が分かるようになりました。

また、日本ではあいさつだけでなく、言葉を使うときにもれいぎがとても大切です。たとえば、相手におねがいする時は「おねがいます」、かんしゃするときは「ありがとうございます」を使います。このように、相手にたいするきくばりやれいぎを言葉で表すことが、にちじょう生活の中でよく見られます。最初は、こうしたけいごや言葉の使い方少しとまどいましたが、だんだんとおぼえて使えるようになりました。

ある日、私は日本の友達とカフェで会ったとき、とつぜん「おつかれさま」と言われておどろきました。仕事が終わった後に使う言葉だと思っていたので、ふだん使わないシーンで聞いたときは少しふしぎでしたが、すぐに友達が「日本では、何かを終えたときにこの言葉を使うんだよ」と教えてくれました。このように、あいさつや言葉の使い方が日本の文化において重要だと実感しました。

日本に住んでいると、毎日のようにあいさつをし、また言葉で気持ちを伝えることが当たり前になります。私はこのしゅうかんがとてもすばらしいと思います。あいさつやれいぎを大切にすることで、周りの人々とよいかんけいをきずけると感じています。日本のあいさつの文化は、私にとってとても新しく、学ぶことが多いです。これからも、しっかりあいさつをして、日本の文化をもっとふかくりかいていきたいと思います。

■ゴミの分別

日本では、ゴミの分別がとてもきびしく行われています。ゴミをすてる時、もえるゴミ、もえないゴミ、しげんごみなど、しゅるいごにわけてすてる必要があります。最初は、どのゴミをどこにすてればよいのか分からず、少しとまどいました。しかし、まちのあちこちにゴミの分別についてのポスターやあんないがあり、ルールをおぼえることができました。

日本では、ゴミを分別することがとても大切だとされています。ちいきによっては、ゴミをすてる日も決まっているので、計画的にゴミを出さなければなりません。私は最初、いつゴミを出すのか忘れてしまうことがありましたが、周りの人たちがしっかりとルールをまもっているのを見て、自分も気をつけようと思いました。

また、日本のこうきょうの場はとてもせいけつです。公園やまちかど、駅など、どこもきれいにたもたれています。日本人々は、自分が出したゴミは自分で持って帰ることが多いです。このようなしゅうかんは、かんきょうにたいするいしきの高さを感じさせます。日本のゴミの分別やせいけつさには、私もとても感心しています。自分も生活の中で、ルールをまもるように心がけています。これからも、ゴミの分別をしっかりとまもり、きれいなまちをたもつためにきょうりよくしていきたいと思っています。

■まつりや行事

日本では、ちいきごとにたくさんのまつりや行事が行われています。私が最初に参加したまつりは、地元じもとの夏まつりでした。まつりでは、屋台やたいがならび、たくさんの人々がゆかたを着て歩いています。私もゆかたをかりて参加したのですが、ふだん見ることのないこうけいにととてもおどろきました。おまつりのふんいきはとてにぎやかで、みんな楽しそうにすごしていました。

特に印象いんしょうにのこっているのは、屋台で売られている食べ物たもののしゅるいです。焼きそばやたこ焼きなど、どれも楽しそうで、食べてみたくなりました。私はたこ焼きを食べましたが、とても美味しく、日本のまつりならではの楽しみを感じました。また、まつりでは、でんとうでんとうのおどりや音楽おんがくがながれていて、それをみんなでいっしょにおどる場面ばめんもありました。私もいっしょにおどってみたのですが、最初はちょっとはずかしかったものの、みんなといっしょに楽しむことができ、とてもよいけいけんでした。

まつりやちいき行事ぎょうじは、ただ楽しむだけでなく、ちいきの人々とのこうりゅうの場ばでもあります。日本のまつりでは、近所きんじよの人々や友達ともだちといっしょにすごすことができるので、よりちいきに溶け込むことができると感じました。私は、これからも日本のまつりやちいき行事ぎょうじに参加して、もっと日本の文化ぶんかを知り、楽しみたいと思っています。

■日本の食文化と食事のマナー

日本の食文化は、私にとってとてもしんせんで、おどろきと発見の連続でした。最初に食べた日本料理はすしでした。すしは見た目がとても美しく、食べる前から楽しみでした。しんせん魚とすめしのくみあわせがぜつみようで、初めて食べたとき、その美味しさにおどろきました。また、食材の味がとてもせんさいで、素材のよさがいかされていると感じました。

ラーメンも日本に来て初めて食べました。スープの味がふかく、めんもだんりよくがあり、一口食べるごとにまんぞくかんが広がりました。特に、ラーメン屋ではお店ごとに味がちがい、何度も通いたくなります。日本のラーメンにはちいきごとのとくちょうもあり、旅行先でその土地のラーメンをためすのが楽しみの一つになっています。

わがしも日本らしい食べ物の一つで、最初はその見た目の美しさにおどろきました。特に、きせつごとのわがしは、見た目にもこだわりがあり、食べる前にその美しさを楽しむことができます。まっちゃといっしょにいただくわがしは、特に日本のでんとうを感じさせてくれます。

日本で食事をするときには、食事のマナーも大切にされています。食べる前には「いただきます」、食べ終わった後には「ごちそうさまでした」と言うのがふつうです。最初は、この習慣に少しとまどいしましたが、すぐになれました。食事中もしずかに食べ、食べ物をむだにしないことが大切にされているのが日本の食文化です。

日本の食文化を知ることは、私にとって新しい発見でした。美味しい料理だけでなく、そのはいけいにあるマナーやでんとうにもきょうみをもちました。これからも、もっと日本の食文化を学び、さまざまな料理を試していきたいと思っています。

■こうきょうの場でのマナー

日本に来て、こうきょうの場でのしずけさにはおどろきました。たとえば、電車やバスの中では、ほとんどの人がしずかにすごしています。けいたい電話を使うときも、イヤホンをしたり、周りにめいわくをかけないように音をけしたり、電話をかける場所を選んだりします。私は最初、こうきょうの場でしずかにすることに少しとまどいしましたが、だんだんその重要さを感じるようになりました。日本では、こうきょうの場でうるさくしないことがマナーとされています。

また、レストランやカフェでも、他のお客さんに気をつけて、しずかに食事を楽しんでる人が多いです。私の国では、レストランでの会話はにぎやかで楽しいものですが、日本はしずかでおちついたふんいきです。このふんいきをまもることで、食事に集中し、周りの人々もかいてきにすごすことができると感じます。

日本人々は、こうきょうの場でのマナーをととても大切にしており、みんなできょうりよくしてしずかなかんきょうを作り出しています。たとえば、駅やバスでいならぶとき、だれもがきちんとじゅんばんをまもり、急いでいるときでも他の人をおしたりしません。こうした細かいきくばりが、こうきょうの場でのちつじょを作り出していると感じます。

日本の社会でしずけさやこうきょうのマナーが大切にされていることは、私にとって新しい発見でした。最初は少しきゅうくつに感じることもありましたが、今では日本ですごすことが心地よく感じられます。これからも、日本のマナーや文化を学び、よりよい社会の一員としてすごしていきたいと思っています。

■日本のみりよく

日本で生活する中で、私は日本の多くのみりよくを感じています。日本の文化やしゅうかんは、とてもきょうみぶかく、学ぶことが多いです。たとえば、こうきょうの場でのしずけさや、あいさつの大切さ、ゴミの分別など、社会全体でのマナーがしっかりとまもられている点は特に印象にのこっています。日本では、周りの人々がお互いにきょうりよくし合うことで、生活がスムーズに進んでいます。

日本の食文化も、とてもみりよくがあります。すしやラーメン、わがしなど、日本料理の美味しさや、食事を通して伝わるせんさいなかんかくに感動しました。また、食べ物だけでなく、食事のマナーやそのはいけいにある文化を知ることができたのは、私にとってとてもきょうな体験です。

ちいきのまつりや行事にも参加し、日本のでんとうにふれることができました。日本では、きせつごとのまつりやちいき行事がさかんで、地元の人々といっしょに楽しむことができるととても楽しいです。これらの行事は、ちいきのきずなをふかめ、文化を大切にする気持ちをはぐくんでいると感じます。

日本に住みはじめて、私は多くの新しいことを学び、日々の生活ゆたかになっています。最初は言葉のかべや文化のちがいにとまどうこともありましたが、少しずつ日本のよさを感じるようになりました。日本に住むことができ、本当に幸せです。

これからも、日本についてもっとふかく知り、生活を楽しみながら、色々な体験をしたいと思います。日本は私にとって、学びの場所であり、成長できる場所です。

「日本に住んでおどろいたこと」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

